

長久手市役所(行政)なりきりチーム①

脱！ひとりよがり	行政の独善にならないために
	行政だけだと押しつけになるから住民と一緒に！
	権力の集中がなくなる
進め！オールながく～て	行政だけ抱え込まなくていい
	今までなんでもかんでも役所だけで解決という流れがあったが、分担できるようになる
	道路や建物など、まちの人ではどうにもできないことは役所で解決
	同じテーマでも考えることがちがってくる
	住民の思いを反映させられるように
	市民に必要なことがわかりやすくなる
	市民の生の声を聞き、市政に生かす
	色々な人のアイデアを借りられる
市民ファースト	限られた市民でなく、大局的にみて援助を
	住民団体などに情報や物資、資金などの積極的な援助
	税金を有意義に使える
校区カラー	障がい者、貧困家庭など弱者を大切に
	地域ごとの特色が出る
ザ・ホンネ	地域の特徴も取り入れて解決
	物事を進める上で少しでもスムーズに進めるため
	住んでいる人の意見を聞くためのルールが明確になる

長久手市役所(行政)なりきりチーム②

行政マンの拠り所	憲法は欲しいよね
	自治とは何かを説明するための根拠
	総合計画をつくる根拠になる
	仕事の根拠
	市政(行政)活動の拠り所
	市民団体への説明根拠になる
	市民からの意見を採用する際の基準
	答えられる
市民よ目覚めろ	整う
	特に市民はめざめろ！
	市民～議会～行政のほどよい緊張
	市民参加の覚せい
	市民に自治活動を呼びかけるための根拠
	法律をつくと市民が動くといえる
	これをつくる過程からすでに市民を活かす(市民が関わる)⇒意識付け
市民も巻き込んでつくった条例に愛着を持って！	
何があっても続けられる 継続性	首長や議会の暴走を防ぐ
	方向性の確保
	代が変わっても受け継いでゆける
	継続性を担保する
	行政の仕事の土台を担保する。⇒職員の仕事の継続性が担保される＝良い仕事ができる
	総合計画をつくる根拠になる進めていく上でのさらなるもとなるもの、ランドデザイン
まちのランドデザインの継続性を担保する、首長が変わろうとも	

自治会等の地縁団体なりきりチーム①

共助	市民一斉防災訓練(共助)
防犯	安心安全な街(防犯パトロール)
	年2回地域パトロール(くすのき広場)
	近所の顔がわかる仕組み
絆づくり	つなごう絆、築こうコミュニティ
	夏まつり、運動会
	学生も大人と一緒に役まわりができる
顔の見える環境	地域コミュニティのできるまち
	顔の見える、声の掛け合える関係をつくる
	環境がよくなり、住みやすくなる
未来	まちの将来
子どもの地域参加	子どもも参加できるルールになる
	子どもがまちづくりに参加する子ども会をつくる
話し合いに参加しやすい	ルールがわかりやすい
いじめをなくす	子どものいじめを防ぐ
行政と市民の目標が一緒になる	活動に対する理解

自治会等の地縁団体なりきりチーム②

自治会内でもめないために	自治会内で意見が分かれたときの指針として
	もめたくない
	スムーズに物事を進めるため
地域がまとまるためのルールとして	地域のルールができる
	地域がまとまる
	自分の街は自分で守る
	障がい者、貧困、食物アレルギーの人々がありのままに暮らせるように
自治会と行政の協働のために	自治会と行政の協働を促進するための指針として
	現状の自治会は要求型、それにならないために
	高齢化社会、子育て等課題解決のため行政と協力
	行政に頼るだけでなく、自分たちが覚悟をもってやる
地域内団体の役割と位置付けのために	自治会、行政、議員、それぞれの役割の位置付け
	活動の根拠ができる
	自治会の存在意義を明文化しておく
	市民による団体活動のひとつとしての自治会の位置付けとして どこまでが自治会の仕事、どこまでが子ども会がするの？
自治会と地域内団体との協働のために	「まちづくり協議会」の位置付け、条例との関係
	「自治会連合会」と「まちづくり協議会」との関係
	自治会と他の自治会、他の市民団体との協働を促進する
	自治会連合会内でもめないために
多様な市民の自治会参加のために	自治会メンバーの維持もしくは増員のための説得力として
	子育て世代をはじめ若い世代の自治会参加を促すため
	徴兵制的な団体から志願兵的な団体に脱するために 魅力的に見える広告になればいいな

NPO等の市民活動団体なりきりチーム①

まちづくりの方向性	まちづくりの方向が首長の交代で変わらないように 議論のきっかけとなって、一つの流れを作ってゆく、それが改革のスタート
	まちづくりの方向性
愛街精神	街を〇して我街を〇する 愛街精神 まちと一緒に成長しよう
情報開示	まちの課題と各種行政の取組の情報開示
	諸課題の長久手市の現状情報の提供
	市民からNPO団体の中身についてのわかりにくさがある。何してんだろう。
	OPENな市役所
NPOの活動資源	活動をしてもらう「場」みたいなものがない・・・
	活動の場の確保のため
	限られた人が限られた時間内で限られた仕事をやり遂げる
	ダラダラと働かず、効率よく働く。長時間労働の規制化
	報酬無しがどこまで守られるか
	一緒に活動してしてくれる人材さがしが困難
協働の明文化	活動の周知
	協働のための条例予算化
	NPO等が継続していけるような仕組みづくり
	何事も行政(他人)任せでは・・・自分たちで力を合わせてよい街にしていこう
	性別にかかわらず、個人の個性と能力を発揮できる、多様性になる あらゆる部門の社会参画意識

全体からの意見

- * 所属団体に属さない声なき市民の声はどう拾う？
- * 行政を縛るもの。行政から住民の自治を守るもの。

NPO等の市民活動団体なりきりチーム②

連携・協力が促進される	小さな組織をパッチワークのようにつなげるため
	つながりを作る
市民のバックアップが得られる	自治基本条例を軸に、市民に広め、まちづくりに努める
期待される効果—まちづくり協議会の設立	まちづくり協議会の立ち上げの骨格
真の協働のあり方の明示	市民団体と行政とのつながりがはっきりする
	行政と役割分担できる
	計画作成の段階で(行政計画)、活動の実態把握に努める(行政努力目標)
	自分たちの立ち位置が明確になる
自立の支援	行政から押しつけられない
	何かに拘束されてやりたくない
	NPO団体がより自立するため
方向性が明確になる	まちづくりの方向性を考えながら活動ができる
	お金(予算)がもらえる
目標と成果が明確になる	実施計画において、目標と成果を明確にして協働事業を心がける
平和ぼけ、必要を感じない	無くてもよい？

全体からの意見

- * 他人事にしてしまったことを自分事にできる
- * 批評家からプレイヤーになる
- * 主体的市民になる機会が増える

市議会(議員)なりきりチーム

議会基本条例	長久手市議会基本条例 開かれた議会、情報公開・発信、住民の意見を聞く
身近な存在	市民からの声、活動、市民が要望していることに対して、議員が一番の理解者(立場)でいたい 議員は住民の身近な存在
よりどころ	市担当者が変わっても政策に一貫性がでる 地域の問題が明確になる 地域住民の役割が明確になる
活性化	議会の活性化⇒質の向上 地域に関心がある(口を出す)住民が増える
土台	住民主体の条例に基づいて行動できる 今後の条例の土台となる

全体からの意見

- * 条例は議会の役割あるので、議会主体で決めるよ!
- * 国や県に頼らない長久手独自の方針施策システムを作ろう。
だって、地方 交付税をもらってないもん。
- * 総合計画(基本構想)を承認する
- * 従来の地縁や会派のしがらみにとらわれずに、市民に寄り添った議会活動を行う根拠になる
- * 他の自治体の情報を得て、生かすことができる
- * 議会の役割と責任を条例でどこまで担保できるか?